

後援事業実施報告書

平成11年10月12日

事業名 第9回 日本病院薬学会年会

主催者名 日本病院薬学会

(年会長 宮崎勝巳：北大医学部附属病院薬剤部教授)

(会頭 伊賀立二：東大医学部附属病院薬剤部教授)

共催：(財)永井記念薬学国際交流財団

協賛：日本薬科機器協会、(財)伊藤医薬学術交流財団、(財)秋山記念生命科学振興財団

後援：厚生省、北海道、札幌市、日本薬学会、日本病院薬剤師会、日本薬剤師会、北海道薬剤師会、札幌薬剤師会

実施日時：平成11年9月25日～平成11年9月26日

実施場所：札幌プリンスホテル国際館パミール

参加者数：

会員	事前登録	710名	当日参加	258名	
非会員	事前登録	482名	当日参加	306名	
学生	事前登録	24名	当日参加	61名	
招待演者、組織・実行委員				81名	
総数	事前登録	1216名	当日参加	706名	合計 1922名

参加料金等

学会員	8000円 (事前登録), 9000円 (当日参加)
非会員	9000円 (事前登録), 10000円 (当日参加)
学生	2000円

事業の内容： 統一テーマ「リサーチマインドで問題解決を」
特別講演2題、教育講演2題、会長講演、シンポジウム2テーマ、
一般会員発表 口頭発表139題、ポスター発表299題 (総438題)

事業実施の経緯

平成10年11月27日	第1回組織委員会	於：北海道大学医学部附属病院特別会議室
平成11年1月7日	第1回実行委員会	於：北海道大学医学部附属病院薬剤部医薬品情報室
平成11年6月23日	第2回実行委員会	於：北海道大学医学部附属病院薬剤部医薬品情報室
平成11年9月13日	第2回組織委員会・第3回実行委員会合同会議	於：北海道大学医学部附属病院特別会議室
平成11年9月24日	組織・実行委員・北大病院薬剤部職員合同最終打ち合わせ	於：札幌プリンスホテル国際館パミール

事業の成果：

1. 全国から薬学部・薬科大学の研究者、病院勤務薬剤師、医薬品関連企業研究者等々が集まり、最新の研究成果について発表討論を行った。
2. 国民の健康促進/疾病治療における医薬の役割・薬物の適正な使用・副作用軽減化のための発表および情報交換を行うことができた。
3. 薬物療法の最適化・医薬品の適正使用・患者のQOLの向上の観点からチーム医療における薬学的専門性について方向性を見出すことができたことより、これらの成果は今後、国民・市民の健康の促進・疾病治療に大きく貢献していくと考える。

※日本列島を縦断した台風18号の影響で交通手段が分断され、当初の予定参加人員を大きく減少させる結果となった。しかしながら、講演者・発表者については大会旅行事業を委託した「JR北海道」の努力によりわずかに2、3題(一般発表)が取りやめになったのみで、年會を予定通り遂行可能であったことを付記する。